夕刊
臺灣日日新報
五月二十八日

十五日に、會期三日
臨時議會を召集
緊急案件提出 國策遂行所信を闡明

【東京發】情報局發表(五月二十八日午後零時半) 政府は本日の閣議に於て臨時議會召集を奏請する事に決した、召集日は六月十五日、會期は三日間である、臨時議會召集の目的は時局に鑑み特に急を要する豫算案及法律案の協贊を求めんとするにあるが尚此機會に國策遂行に關する帝國の所信を中外に闡明する所存である、尚提出見込のものは左の通りである

一、豫算案（イ）米買入價格引上げに關するもの（ロ）食糧緊急增産に關するもの（ハ）企業整備に關するもの

二、法律案（イ）右に關聯する公債法案（ロ）之に關聯する特別會計法案（ハ）國民更生金庫法中改正法律案（ニ）企業整備基金措置に關する法律案

臨時議會に提出すべき案件に就いては速かに之を準備し右の期日までに決定する事とした

六月四日(金) 企業整備要綱、各案件要綱

六月十一日(金) 豫算案及び法律案

猛焔中に從容神の姿
武人の龜鑑 柳本少將の最期

【東京發】光輝ある海軍記念日に當り時宜に依り畏くも功二級金鵄勳章の恩命に浴した故柳本柳作海軍少將の壯烈鬼神を哭かしむる最期が明かにされた、同少將はかねて軍務局員、軍令部課長として [illegible] 水上機母艦艦長として [illegible] ハワイ海戰、ウエーキ島攻略、インド洋等各方面の作戰に赫々たる偉功を輝かし遂に [illegible] 部下乘員を退去せしめた後唯一人從容として [illegible] 艦と運命を共にしたものである、戰史に比類なき山本元帥の [illegible] 一億國民感激に知る同少將の戰死は [illegible]

[illegible]

重傷に屈せず艦橋指揮

[illegible]

盡忠の血躍動
巢立つ若鷲感激の壯行式

【東京發】大東亞戰爭が今決戰段階に入つた時 [illegible]

[illegible]

天皇陛下に親電
海軍記念日に、ヒ獨總統

【ベルリン二十七日發同盟】[illegible]

故山本元帥へ
獨勳章を贈與

【ベルリン二十七日發同盟】ヒトラー總統は [illegible]

敵航空勢力を擊滅
東條兼攝陸相烈々の訓辭

[illegible]

ペルー在住日獨人の全財產を沒收

【ブエノスアイレス二十七日發同盟】リマ來電＝ペルー政府は來る六月一日より施行される大統領令をもつて同國在住樞軸國人の凡ゆる [illegible]

海洋筏に凱歌
赤道直下乘切る

【マカッサル十七日發同盟】[illegible]

苦悶の歐洲中立國
執拗な反樞軸側の策動

【リスボン二十五日發同盟】[illegible]

スイス

[illegible]

スウエーデン

[illegible]

スペイン

[illegible]

ポルトガル

[illegible]

トルコ

[illegible]

ル、チ成果を語らず
反樞軸の評定終る

【リスボン二十五日發同盟】[illegible]

チッタゴン飛行場
猛爆下完全に破壞

【イスタンブール二十七日發同盟】[illegible]

チャーチル苦慮
記者團の追及急

【ブエノスアイレス二十六日發同盟】[illegible]

反樞軸會談公報

【ブエノスアイレス二十七日發同盟】[illegible]

殊勳の早川機
壯烈なる自爆

[illegible]

伊海軍の戰果

[illegible]

東部戰線赤軍
ゲリラ部隊狩

【ベルリン二十五日發同盟】[illegible]

擊沈二千百萬噸
反樞軸船舶保有量戰前の六割

[illegible]

樞軸空軍戰果
地中海海戰

【ローマ二十六日發同盟】[illegible]

獨軍ルールで敵機四十擊墜

【ベルリン二十五日發同盟】[illegible]

英快速艇を大破

【ベルリン二十七日發同盟】[illegible]

クバン赤軍を粉碎

【ベルリン二十七日發同盟】[illegible]

ノヴオロシースク
獨、ソの大空中戰

【リスボン二十七日發同盟】[illegible]

和蘭沖合獨英
戰鬪經過詳報

【ベルリン二十五日發同盟】[illegible]

ビゼルタ港に
獨機爆彈の雨

[illegible]

ルーズベルト宛
ス議長書翰手交

【モスクワ二十七日發同盟】[illegible]

斷じて上陸許さず
伊軍斷乎たる態度

【ローマ二十六日發同盟】[illegible]

バルカン方面かフランスか

[illegible]

罷業米全土に瀕發

【ブエノスアイレス二十七日發同盟】[illegible]

強權で威嚇
米ゴム爭議

【ブエノスアイレス二十七日發同盟】[illegible]

米の炭礦爭議
依然解決困難

【ブエノスアイレス二十六日發同盟】[illegible]

米小賣商悲鳴
最高價格設定に

【リスボン二十五日發同盟】[illegible]

育英制度準備委員會の機構譯算

【東京發】[illegible]

内務省委員一行
督府側と懇談

[illegible]

人事

[illegible]

南方特産！パパインを製剤
食慾增進
完全消化
カネホウ
消化胃健錠
[illegible]
東京市品川區大井鎧町
國寶化學研究所

今日の教養
書選廿七篇
成就の法則
[illegible]
教材社

武人の龜鑑柳本少將

努力と至誠に一貫

面影を偲ぶ中堂大佐

【東京電】軍令部課長、軍令部[illegible]として我が海軍作戰の元締を[illegible]り支那方面作戰には水上機母艦艦長として功あり[illegible]大東亞戰爭勃發するやハワイ海戰、ウエーク島攻略、インド洋、太平洋方面の各海作戰に赫々の戰功を擧げその後某方面の作戰に[illegible]る武勲を擧げて遂に乘艦の[illegible]を[illegible]り[illegible]不可能に陥るや部下總員退去せしめた後艦と[illegible]と[illegible]に殉ずる[illegible]と[illegible]を共にした柳本柳作少將の[illegible]な最期こそ武人の[illegible]として二十七日第三十八回海軍記念日の今日[illegible]功二級の恩賞に浴したさきの「[illegible]の最期」山口中將[illegible]と共に柳本少將のこの[illegible]は[illegible]一億國民の胸に再び大きな[illegible]を與へ[illegible]乃木大將とまで[illegible]へられた[illegible]、努力の人柳本少將の面影を偲びその人となりにつき同期生の中堂[illegible]大佐は左の如く語つた

我々同期生が最も敬服するのは少將が生涯を通じて努力と至誠に一貫されたことである。兵學校時代、少將の名前が出たのはてうど入學一ケ月後の時、江田島年中行事の一つ江田島、宮島間のボート競漕と彌山登り競爭に優勝の下馬評にも上らなかつた少將が他の選手を許さぬ速さで

勝ち拔いた時である。小學校、中學校、兵學校では優秀といふ程でなかつたが、生涯を通じての努力が遂に最後には優等者組に入るの榮冠を[illegible]ち得たよく世間で「俺は駄目だよ、餘り出來のよい方ではないから」と言つて「自ら捨てる人がある」が、これらの人々は少將を手本として努力に努力を重ねて國家のお役に立つやうに心掛けねばならない。海軍には「海軍の乃木將軍」と言はれる人が二人あるが、この内の一人が少將であるやうに全くの精神家で、劍道も無門流の[illegible]許の腕前であり心身の鍛錬には[illegible]の[illegible]等で坐禪を行つたりしてゐた「大楠公」を崇拜、出征、[illegible]の[illegible]合は必ず湊川神社に參拜してゐた。大東亞戰爭勃發直前頃から[illegible]に致誠[illegible]く香取[illegible]に[illegible]も[illegible]部下將兵の武運長久を祈り命と[illegible]と言ふ如き心境にまで到達してゐた。

部下を愛することも非常なもので、少將の部下になれば何兄弟までも調べ上げ何かと心を配つて面倒を見てゐた、某艦長時代出動準備の作業中に一工員が誤つて上から[illegible]落して重傷を負つたことがあつた。少將に自らその患者を病院に見舞ひ食物のことまで心配し[illegible]も再び病床を訪れて「君のお蔭で多大の功績を擧げた」と[illegible]と見舞ひを述べたので同人は勿論、全工員は[illegible]激し柳本少將のためならばと一層努力の[illegible]に身を粉にして働くことを誓つたと言ふことである。その工員は今壯健となつて働いてゐるが、少將の戰死を聞けば[illegible]なものがあらう又[illegible]の[illegible]時代の少將の[illegible]

不眠不休で

[illegible]殆んど航海中は[illegible]についたことはなく眠くなれば[illegible]の上で伏せて休み寒ければ[illegible]りして[illegible]で[illegible]つたと言はれた。大正五年[illegible]が[illegible]に入港し東京見物に上京した少將にその時一般國民の[illegible]が[illegible]へ民心が[illegible]してゐることを痛憤し東京から[illegible]まで徒歩で[illegible]ひ[illegible]つたと言ふ挿話もあつた少將の[illegible]は只海軍の[illegible]に[illegible]ると言つても過言ではあるまい[illegible]の身上は華々しい最後を飾つたと言ふよりも寧ろその一生涯を至誠努力に徹したことであらう

聖恩に應へ奉らん

第二次攻擊隊勇士遺族の感激

【東京電】今次[illegible]にあつて輝く[illegible]の人々の中にシドニーに、マダガスカルに日本男子の[illegible]しい雄叫びをあげて突入[illegible]も哭く壯烈な戰死を遂げた秋枝中佐以下十勇士の名が見出だされる。我等銃後一億の思ひ出は[illegible]に新たな[illegible]を[illegible]って十勇士の上にはせその[illegible]に[illegible]、永久に輝く英魂安かれと念ずるのであるが、遺族の感激も又大なるものがあつた

伴少佐

【名古屋電】第二次攻擊隊の一人伴勝久少佐の武勲を偲ぶ一[illegible]を前に愛知縣[illegible]部[illegible]町[illegible]の實家で[illegible]功四級六の恩命に浴した[illegible]を[illegible]、[illegible]ソノさん(六[illegible])が[illegible]海軍軍人として當然の任務を果したに過ぎませんのに先には二階級を進めて頂き、今また厚い恩命に浴しもつたいない極みで御座います、地下の[illegible]もさぞか

松尾中佐

【熊本電】松尾敬宇中佐は[illegible]に二階級特進の榮を拜し、今回功四級旭五の恩命を拜し、[illegible]れ[illegible]の武人の榮譽に浴し[illegible]れ[illegible]、父敬[illegible]、母堂マツエさんは熊本縣[illegible]郡[illegible]村の實家で感激を[illegible]と感淚にむせんでゐた

都竹兵曹長

【岐阜電】[illegible]郡[illegible]村の都竹正雄兵曹長の實家では[illegible]功五級七の[illegible]に[illegible]し[illegible]の[illegible]を[illegible]す。

岩瀬大尉

【名古屋電】[illegible]岩瀬[illegible]大尉に功四級旭六の榮譽ある[illegible]が[illegible]された高[illegible]市[illegible]の自宅二階の佛間には[illegible]の[illegible]を以て[illegible]と[illegible]した、ありし日の[illegible]大尉の[illegible]がかかげられてゐる。父[illegible]氏、母[illegible]ハナさん(五[illegible])が佛前に[illegible]して語る

この度の[illegible]、[illegible]の名譽であると共に私達一家一門の榮譽であります、[illegible]ありません、[illegible]も銃後の[illegible]として[illegible]一杯の御奉公を[illegible]

大森特務少尉

【鳥取電】[illegible]を前に今回の[illegible]功行賞で[illegible]中功五旭六の榮を賜はつた第二次特別攻擊隊の勇士大森[illegible]特務少尉の生家[illegible]は[illegible]この光榮に[illegible]父[illegible]さん(六[illegible])は語る

中馬中佐

【鹿兒島電】第二次特別攻擊隊の勇士、鹿兒島縣[illegible]郡上東[illegible]村[illegible]出身、故中馬[illegible]中佐の實家では[illegible]一氏(六[illegible])は[illegible]

秋枝中佐

【廣島電】[illegible]

高田兵曹長

【福井電】功五旭七の[illegible]に輝く高田[illegible]兵曹長の實家では[illegible]

竹本特務少尉

【廣島電】功五旭七を授與された[illegible]町の故竹本[illegible]少尉の[illegible]

渡邊特務少尉

【和歌山電】和歌山市[illegible]の[illegible]の實家では[illegible]

山本元帥靈前の遺族　右より禮子夫人、長男義正君、二女正子さん、次男忠夫君

生產增强へ大進軍

山本元帥に續く產奉會

故山本元帥の壯烈無比なる戰死の報は全國民に對し深甚なる感銘を與へ、誓つて元帥に續き戰線に[illegible]へその仇を[illegible]がんの決意を固めつつあるが、產業報國會では山本元帥の[illegible]に應へ戰力增强の一線に敢闘する全產業人に對しその戰意を昂揚、一路生產增强に邁進せしめ戰場の決戰態勢に[illegible]化し故元帥の忠誠に[illegible]ゆるべく果敢なる全產業人總蹶起運動を展開することとなり[illegible]を左の如く決定した

運動目標 イ、[illegible]

實施期間 [illegible]五日より七日間

實施要綱 [illegible]

各會員(產報分會)の實施すべき具體的事項

[illegible]

各學校で遙拜式

山本元帥國葬の當日

【東京電】文部省では六月五日の國葬當日各地學校で一齊に遙拜式を擧行し故元帥生前の[illegible]に關する訓話を行ひ[illegible]の[illegible]を[illegible]すると共に[illegible]やう全國地方長官並に各學校長に二十七日通牒を發した

"石碑建造の一部に"

老伍長故元師に哀悼

【基隆電話】故山本元帥戰死に對する一老伍長の哀悼の赤誠—去る廿六日基隆在勤海軍武官府宛基隆市老伍長よりとの差出人名で封書が屆けられ、岡本武官が開封するとして故山本元帥戰死の[illegible]

海軍省へ獻金部隊

海軍記念日 赤誠の群殺到

【東京電】輝く海軍の戰果に感激し米英必殺の固き心を獻金に換へ海軍記念日の二十七日海軍省へ早朝から押寄せた市民の群に同省玄關[illegible]に設けられた臨時獻納受付の係員はこれが應待に嬉しい悲鳴を擧げた、この日は午前に引續き午後五時迄に獻金額は二千萬圓を突破、獻納物は立正高等女學校生徒の四百八十九名を筆頭に一千[illegible]に上り、この中には日立[illegible]等會社の從業員一同の飛行機獻納作資金八萬圓の大口獻金もあるが小口獻金が非常に多かつたことは國民の燃える至誠が記念日を期して海軍へ示された事を物語つてをり女子[illegible]院中等科二年生が[illegible]千枚と「[illegible]」といへば五百[illegible]を出して[illegible]に添えた十圓[illegible]もあつた

記念講演會

多大の感銘

【基隆電話】基隆市では二十七日午後一時から基隆[illegible]に[illegible]基[illegible]市[illegible]會[illegible]の参集を求め[illegible]武官府[illegible]井中佐を講師として海軍記念日記念講演會を開催したが、[illegible]中佐は「海軍記念日に當り[illegible]海戰」と題して日清戰爭以來の海軍の威力と大東亞戰爭における[illegible]わが無敵海軍の赫々たる戰果と銃後生產力の增强を說き、[illegible]國民の一段の奮起緊張を促し聽衆に多大の感銘を與へて午後二時過ぎ閉會した、なほ午後八時から國民學校で海洋少年團に對し同本[illegible]武官、和田[illegible]氏の記念講演が開催された

皇太子殿下へ赤城の模型艦

【東京電】一昨年春、畏くも皇太子殿下には横須賀へ行啓、軍艦[illegible]を御見學あらせられたのを記念し大日本東京海洋少年團では皇太子殿下に獻上すべく同團顧問[illegible]川本八郎氏に製作方を依賴、[illegible]「伊號二十六號」を昨年春、皇太子殿下に獻上申上げたところ、[illegible]は[illegible]に[illegible]の御[illegible]を[illegible]したのをはじめとして[illegible]「[illegible]」「陸奥」と[illegible]

賞賜物件の傳達式擧行

【新竹電話】臺北有田氏代表部長は二十八日午前十一時新竹市[illegible]で[illegible]臺[illegible]の[illegible]に新竹市[illegible]町[illegible]氏[illegible]に對し賞賜物件の傳達式を擧行した

イの一番に坊や

基隆武官府に獻金續く

【基隆電話】二十七日海軍記念日における基隆市民の愛國熱は[illegible]にも昂揚され海軍への獻金の[illegible]となつて現はれた。記念日の朝八時半頃基隆在勤武官府にイの一番に訪れたのはまだ四歳位の坊やで片言交りで「オヂチャン、これ[illegible]の[illegible]いけた獻金を[illegible]に[illegible]へと武官府に集つた赤誠は卅二口、計二千五百四十圓六十錢で、中でも市內在住の[illegible]氏(會長)以下千三百人を以て組織する基隆[illegible]から六百四十一圓七十二錢の獻金があつたが、右について武官府係員に同會の大東亞戰爭勃發以來、絶えざる獻金奉仕について左の如く語つた

海を讃へて辻文學

主要都市で展示

海軍記念日の住き日臺北市公會堂では臺灣文學奉公會、臺北市[illegible]會、[illegible]の協力を得て榮町通りに海の文字と美術[illegible]開催[illegible]

"飛行機獻納"を提唱

曉天動員の社頭に申合す

【花蓮港電話】決戰下海軍記念日を迎へた花蓮港市[illegible]年團並に青少年團では二十七日午前五時全團員の曉天動員を行ひ國旗を揭げて花蓮港神社に參拜、[illegible]民皇[illegible]の後、[illegible]少年團長から[illegible]海軍に對する一[illegible]國民の決意を新たにし、故山本元帥の[illegible]ぶ[illegible]があり全團の[illegible]に[illegible]一人一圓づつ飛行機獻納[illegible]金を申合せ、[illegible]に故山本元帥の[illegible]

燒夷彈投下の實地演習

【花蓮港電話】市民に燒夷彈の[illegible]力と消火方法の徹底を[illegible]る花蓮港第五區ではかねて計畫中の實地演習を海軍記念日の二十七日午前十時から[illegible]長指導の下に官民をはじめ[illegible]町民[illegible]二百名が見學する中に二キロ燒夷彈の[illegible]下實地演習が行はれ、燒夷彈に對する[illegible]、消火方法等に多大の效果を收めた

【花蓮港電話】輝く海軍記念日を迎へた花蓮港市では早朝より各戶に國旗を揭揚、各官衙[illegible]民等は神社に[illegible]參拜を行ひ、正午を期して市民は[illegible]國の[illegible]を[illegible]し[illegible]、[illegible]の武運長久を祈念し[illegible]年團では午後一時半より[illegible]

一日に發會式

臺灣學徒南進研究會

臺灣學徒が南方に對して持つ關心を[illegible]南方共榮圈の研究に[illegible]學徒[illegible]は南方に近接してゐる、この[illegible]を[illegible]らに活かして[illegible]研究會の[illegible]を[illegible]來月一日午後六時半より臺北市公會堂で發會式を擧行、引續き講演會を開催することとなつた

同會の通常會員は本島に存する專門學校若くは同程度以上の學校に在學する學生生徒で將來南方に進出せしむべき適格者として學校長の推薦せる者で既に全島六百十九名の會員を有し本島若き學徒の南方への熱烈なる意氣を高らかに示してゐる

造船へ香杉山應召

督府山林課長 近く陣頭指揮

【基隆電話】決戰下一にも二にも船、船、船と造船の急務が叫ばれるをりから總督府山林課では基隆海軍出張所と協力の下に本島における造船資材としてもつとも[illegible]すぐれた長大木の香杉原林を有する新竹州下香杉山に對して伐木の計畫と搬出の準備をかねて[illegible]府山林[illegible]長を陣頭に[illegible]府山林[illegible]技師、基隆海軍出張所[illegible]新竹山林事務所長、[illegible]木材會社から山田竹東事務所主任の五氏がここ四、五日中に入山し[illegible]の密林と[illegible]の[illegible]を[illegible]て海拔約七千尺の香杉原林に分け入り[illegible]に[illegible]することになつた、行程は上り[illegible]一泊、[illegible]一泊、下り[illegible]一泊、[illegible]の日程である、右につき[illegible]の[illegible]長は語る

ここの[illegible]も[illegible]といつても資材がよく出回らないことには[illegible]どうにもならない、香杉山には資材として最も好適な長大木香杉も[illegible]がある[illegible]で大いに陣頭指揮に[illegible]つてこれが伐採の督勵をする譯である、なかなかの難路であるが一行は[illegible]として踏破すると張切つてゐる

急明けに獻金

軍國の母の美擧

【基隆電話】基隆市明治町[illegible]八[illegible]さんは[illegible]の[illegible]三人の子供の內一人が[illegible]したので[illegible]として二十七日基隆[illegible]を通じて軍部へ金一封を獻金したが、この奇特な軍國の母の美擧は[illegible]を[illegible]させてゐる

[illegible]一年[illegible]の[illegible]は[illegible]南方第一線で活躍中惜しくも戰歿した元陸軍司政長官[illegible]子さんは今般[illegible]人の[illegible]明に[illegible]しに代へ[illegible]本部に金五百圓を獻納した

狹き門突破を繞る純情美談

【花蓮港電話】花蓮港廳[illegible]學校[illegible]科一年生[illegible]君(一[illegible])は[illegible]

更に恪勤奉公

勅任待遇の[illegible]氏談

[illegible]府山林[illegible]長[illegible]氏は[illegible]

國防思想普及 巡廻映畫日程

[illegible]の通りである

△二十七日大溪△二十八日[illegible]△二十九日中壢△三十日新屋△三十一日楊梅△一日[illegible]△二日[illegible]△四日[illegible]△六日[illegible]△七[illegible]

住宅營團の監理官ら工事現場を視察

[illegible]

遺家族慰安會

[illegible]

小遣を獻金 ヨイ子供

臺北市[illegible]國民學校の兒童は[illegible]

飛行機建造基金を獻金

[illegible]

紙芝居慰問隊

海軍武官府奇襲

慰問金を獻金

看護助手の美擧

卅日、短艇競漕大會

【基隆電話】[illegible]

海軍記念日祝賀會

鄕軍臺北市聯合分會

產業錬成會

[illegible]

卅一日、初の新劇試演會

[illegible]

青年劇指導者の錬成會

[illegible]

育兒講習會

[illegible]

防空監視哨員感謝資金（一九）

本社扱

金七百卅五圓七十五錢　大正町[illegible]內[illegible]公班有志

金三百圓　臺北火災[illegible]

金二百圓　大成火災海上保險株式會社

金百圓　三[illegible]株式會社臺北支店

金百圓　[illegible]株式會社

金百圓　[illegible]商店臺北出張所

金百圓　臺灣ゼニスパイプ株式會社

金百圓　株式會社[illegible]商店

[illegible]

小計金　二千三百九十圓九十錢

累計金　六萬九千四百十八圓六十五錢

今夜の番組

【第一放送】[illegible]

明朝の番組

[illegible]

石川幸三少將

【東京電】[illegible]

西村早大教授

【東京電】[illegible]

後三國志

（出師の卷）

吉川英治 作
矢野橋村 畫

出師の表（一〇）(108)

何も知らない司馬懿仲達は、[illegible]の兵を率へて[illegible]の町へ入つて來た。すると忽ち、城中の[illegible]物々しく、[illegible]の一[illegible]がこれを迎へに出めて、

「通ずことはならん」

と、呼ばはり、且つ[illegible]を[illegible]めて、かう[illegible]つた。

「聞け、仲達。汝は先帝より[illegible]く、職を[illegible]すその、[illegible]を受けた者の一人ではないか。何とて、[illegible]をたくらむぞ。ここより一歩でも入つてみよ。目にもの見せむ」

仲達は仰天して、それこそ[illegible]の間諜の計に過ぎないと、[illegible]して云ひ[illegible]した。そして、馬を降り、[illegible]も捨てて、[illegible]の兵も城外へのこして、[illegible]身、

「[illegible]は、天子にまみえて、直に[illegible]と、限りなく[illegible]したといふことである。

彼は西相府の[illegible]に[illegible]つて終日かの間、門を閉ぢて[illegible]してゐた。[illegible]の五路進攻による國歌の前にもやはりこの門を閉ぢてゐた事があるが、こんどはその折のやうに毎日、彼の姿を後園の池の畔りに見ることもなかつた。

神[illegible]終日、彼は一夜[illegible]沐浴の後、[illegible]を[illegible]げて、後主劉禪に上す文を書いてゐた。

後に有名な前出師の表は、實に、このときに成つたのである。

彼は今や北伐の[illegible]行を[illegible]く決意したもののやうである。一句一章、心血を[illegible]いで書いた。

文中には、まづ[illegible]として後主の行ふべき王道を說き、あはせて天下の今日を論じ、蜀の現狀と忠良の臣下を名ざして[illegible]てを[illegible]へるべきを[illegible]め、先帝[illegible]と自分との[illegible]、また[illegible]を[illegible]みて、[illegible]ここに至るや[illegible]のうへに、忠誠の[illegible]、[illegible]たるものが見られる長文であつた。

臣亮まうす。

先帝、創業いまだ半ならずして中道に崩殂せり。今天下三分し益州は疲弊す。これ誠に危急存亡の秋なり。然れども、侍衞の臣、內に懈らず、忠志の士、身を外に忘るるものはけだし先帝の殊遇を追ふて、これを陛下に報いんと欲するなり。誠に宜しく聖聽をあきらかにし、以て先帝の遺德を[illegible]し、志士の氣を恢弘すべし。宜しく、みだりに、自ら菲薄し、喩をひき義をうしなひ、以て忠諫の道を塞ぐべからず——

冒頭、まづ忠言をしぼつて[illegible]にかう[illegible]へてゐるのであつた。

「[illegible]しませう」

と、[illegible]は[illegible]に從いて行つた。

そして、[illegible]帝の[illegible]の前にいたるや、彼は、大地に平伏して、その[illegible]いはれなき[illegible]を、[illegible]と共に[illegible]した。

「臣が、西蜀の討を[illegible]んだのは、決して私心私慾ではありません。[illegible]其地の[illegible]をかんがみて、ひそかに[illegible]へんが爲であります。どうか、もう少し[illegible]ください、必ず[illegible]を打つて、大に、[illegible]を亡ぼし、以て三代の君恩に報ずるの日を[illegible]つて[illegible]して、お目にかけまする」

その神妙な容子に、[illegible]は心をうごかされたが、華歆、王朗などは容易に信じなかつた「とにかく彼は[illegible]であり狼である」といふ[illegible]を以て彼を[illegible]めたので、ともあれ御沙汰を相待つ可し——と仲達を[illegible]させておいて、[illegible]を中心に密議した。元より華歆、王朗の[illegible]が、それを決定するのであるとはいふ迄もない。[illegible]ちかう[illegible]った。

「要するに、司馬懿に兵馬を持つ地位を與へるからいけないのだ。世間にいろいろな[illegible]が生じたり、こんな不穩な[illegible]が起つたりする原因にもなる。爪のない虎にして野に放つてしまへばよい。これは

大日本雄辯會講談社發行の名著

重版・軍神杉本中佐　山岡莊八著
好評・軍神加藤少將　檜田博著
好評・林子平　永田衡吉著
重版・死に生く　中川日史著
好評・赤道南下　海野十三著
好評・陸鷲戰記　航空文學會編

ご注文は最寄へ書店

臺灣日日新報
夕刊共六頁
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十八年五月二十九日（土曜日）
臺灣日日新報　第一万五千五百三十號　（一）

産業經濟の新體制
企業整備を徹底
臨時議會の中心課題

【東京電話】戰力增强の根幹たる産業經濟體制の整備確立はいよいよ本格的な實施段階に到達した、政府は大東亜戰爭勃發の當初に即應して産業再編成を擴大强化し平和産業の大宗たる纖維工業につき大規模の企業整備を行ふと共に金屬、石炭鑛業等の整理を斷行し又小賣業についても東條首相十一日に至る第一次整理を完了したのであるが昨秋以降の戰局の推移と産業界の情勢は綜合的にして且つ一段と徹底した企業整備の斷行を必至とするに至つたので六月中旬召集に決した臨時議會の最も重要なる目標もこの企業整備の圓滑なる實施對策とこれに對する國民の理解ある協力を要請するにある

萬全の國家的對策を要請

戰力增强の前提要件
企業新體制の確立

決戰必勝十全の對策
廣範な生産機構編成替
緊要産業に全力

定例閣議
提出案件の眼目

米穀を中心とする綜合

食糧關係追加豫算

翼政、運營に萬全策

七月に中央協力會議
臨時議會の成果を昂揚

所信を中外に闡明する

總進軍の態勢を完成

敵の心臟部に匕首
米英所屬船舶多數を拿捕

ニューギニア爆撃

敵重爆八機を撃墜
荒鷲單機、敵編隊を猛撃

食糧生産に大支障
米大洪水の被害甚大

江防軍主力を痛爆
宜昌西方、荒鷲大擧出動

平常の通り執務
國葬當日の官廳

故山本元帥に伊國樫十字章

【ローマ二十七日發同盟】イタリア皇帝エマヌエル三世陛下は畏くも故山本元帥に對し樫葉十字章を授與される旨仰出だされた

勤勞根本法を制定
厚生省に準備委員會

勤勞報國隊の整備
翼賛會の要綱、閣議諒解

外地物動計畫を完遂
五大重點産業連絡委員會開く

札幌遞信局へ宗像技師轉出

厦門共同租界解消式擧行

内外地情報連絡會議開く

重要鑛物增産法中改正法律一日施行

商工經濟會法施行

米代將ポーター參謀次長に任命

けふの官報

獄中獄外
兒玉譽士夫熱血錄
世界の武將
嵐の世界
大增刷出來・即刻書店へ
アジア青年社

改造
六月號・七十五錢
戰費の問題　藤田武夫
經濟動員計畫の前進　高宮晋
國民教育の新理念…佐藤得二
▼制空爭覇への挺身…高瀬五郎
▼總力動員の要請するもの…決戰時評
（座談會）戰爭と交通　三釜貞三　檜崎敏雄　三輪清一郎　立花次郎
總力戰略　日本總力戰研究5
★日本登山道の開顯　逗子八郎
スマトラ（西風の島）林芙美子
（創作）朝暮兵　尾崎士郎
支那より歸りて　武者小路實篤
山鹿素行・寺田弥吉
百人一首小論　佐藤春夫

文藝春秋
六月號
特價四十錢
五月二十四日發賣
信義昂揚の途　齋藤瀏
内外尊卑の辨　森本忠
田植の儀禮性　早川孝太郎
安宅と日本精神　永井柳太郎
新蘭島の記　濱本浩
至誠至純の教育道　安藤直正
詩　乙旗の日に　佐藤春夫
わが愛讀文章・菊池寛
野村望東尼　創作　中谷孝雄
西村茂樹のこと　山田孝雄
隨筆

キング改題
富士
六月號
お早く
海軍航空將校の實戰座談會
▲生活の中の尊皇攘夷
▲水雷戰隊活躍譜
川南造船所の熱血社長　鹿島孝二
鯉飼ひ報國　丸山義二
ニューギニヤ血戰記　長井壽助
ボロ服の兵隊さん
聖火を繼ぐ者　大隈三好
薫風帖　平松節子
人情馬車　大坂圭吉
平手打ち　淺野武男
高杉晋作　尾崎士郎
御盾　山岡荘八
定價四十五錢・大日本雄辯會講談社發行

重要鑛物增産强化

律令實效期限を（五年）延期

[illegible]

農村勤勞奉仕隊

全國に十五萬を動員

[illegible]

製糸資金の貸出

協定利率を決定

[illegible]

『戰時企畫及體制確立』

鐵道軌道統制會總會

[illegible]

出荷奬勵、場外防止

芭蕉の集荷不成績

[illegible]

創意・工夫を要望

四億貯蓄完遂へ

金融代表懇談

[illegible]

金融機關別割當額（單位千圓）

	目標額	前年度比較增
銀行預金	三〇、〇〇〇	[illegible]
特殊銀行	六、〇〇〇	八、〇〇〇
普通銀行	[illegible]	[illegible]
貯蓄銀行	三、〇〇〇	七、〇〇〇
金錢信託	[illegible]	一、〇〇〇
信用組合貯金	[illegible]	[illegible]
郵便貯金	[illegible]	一〇、〇〇〇
簡保及年金積立金	[illegible]	八、〇〇〇
無盡會社掛金	[illegible]	一、〇〇〇
生命保險責任準備金	[illegible]	二、〇〇〇
私人の有價證券投資	[illegible]	[illegible]
郵便局賣出の報國債券	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他證券	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	一〇〇、〇〇〇

『鐵鋼增産』に闘ふ

惡條件、斷じて克服

[illegible]

産組決戰態勢確立

組合及功勞者表彰

[illegible]

闘ふ農村へ融資

『農産物增産資金貸出規程』

將木産業部長談 自給肥料奮鬪

[illegible]

貸出規程

[illegible]

配給の公平を期す

臺中市で配給委員會

[illegible]

臺灣産組聯の初總代會

[illegible]

貯蓄增大優勝 組合表彰さる

普通信用組合

[illegible]

市街地信用組合

[illegible]

建築組合

[illegible]

自由思想排擊

暖衣飽食許さず（下）

木材の重要性

[illegible]

此點

[illegible]

斯る

[illegible]

海軍記念日の感激と 建設譜を現地に聽く

南方・擧げて米英擊滅へ驀進

王樣（ラジャー）も鍬の指揮

[illegible]

"蔣介石のカゲ薄し"

壯丁の身替り代金五千元也

皇軍來を待つ抗戰地區住民

【一】

[illegible]

【二】

[illegible]

無盡藏の大森林

『南ボルネオの林業』

武田技師の現地視察談

[illegible]

各州廳別實績

[illegible]

食糧品物價 委員會開催

[illegible]

南日本漁業下打合會

有馬委員長近く來臺

[illegible]

重要事項協議

臺北州下勸業課長會議

農林課關係

[illegible]

商工水産課關係

[illegible]

各地區組合を買收

青果配給機構整備對策

[illegible]

高度の增産を期す

花蓮港廳林業組合總會

[illegible]

林業懇談會

薪炭增産協議

[illegible]

畜産興業總會

[illegible]

旭電化工業異動

[illegible]

長野臺拓事務所長着任

[illegible]

市況（廿八日）

兜町前場況

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

東京國債實物前場

[illegible]

東京長期總取引

[illegible]

東京短期日步

[illegible]

大阪短期日步

[illegible]

東京銀行貸株

[illegible]

兜町後場況

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

炎熱下に强行脚 産業戰士等を激勵

齋藤本部長 臺中州下巡視終る

臺中州下の皇民奉公運動實踐状況視察第一日の日程を終り臺中市千代乃家旅館に一泊した齋藤皇奉中央本部長の一行は廿八日午前九時[illegible]、森田州支部長、山下臺中市支會長の案内で臺中市内奉公班の活動状況を視察したのち自動車にて東勢郡に赴り[illegible]郡支會長より郡下の皇民奉公運動實踐状況[illegible]より部落會[illegible]状況につき夫々説明を聴取し、參與、奉公委員を引見・激勵の辭を與へたのち同郡第三、第四部落會の活動状況を査察し、[illegible]する産業戰士を激勵、[illegible]つて郡役所で、西元郡支會長から

臺中市　齋藤中央本部長の一行は先づ有明町に赴り有明町第一奉公班の[illegible]状況を視察した、内湖人、[illegible]一回と[illegible]和やかに世話役[illegible]中心に[illegible]

米英[illegible]に役立たさうとの[illegible]本部長はわが意を得たものの如く大滿悦の態であつた、それより[illegible]町の[illegible]奉公班[illegible]であつたといふところを[illegible]して[illegible]防空壕にしたのを見て、"之は[illegible]"と防空壕内に入つて所懷の一端をもらす、[illegible]

東勢郡　[illegible]

豐原郡　西元支會長の本部長に對する運動狀況の説明の中に"[illegible]"[illegible]

今度は高雄州へ

齋藤皇奉中央本部長 一日夜南下

[illegible]

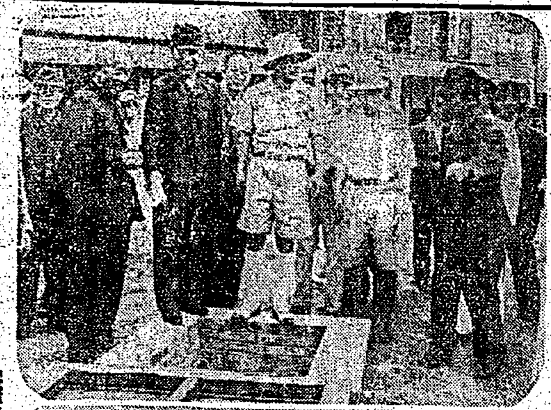
祭粢料、賞賜物件の傳達式

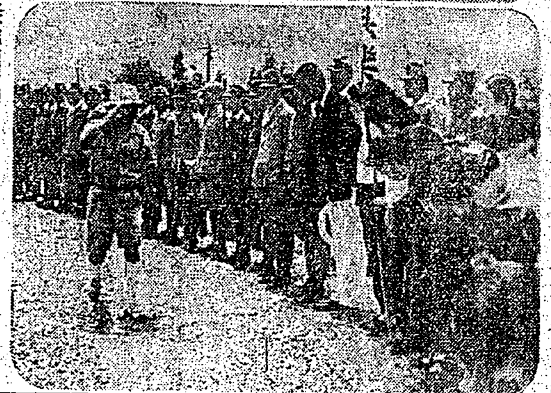
[illegible]

南方戰線に戰病死

臺北高商出身 村重陸軍少尉

臺北市大宮町一[illegible]村重宜之陸軍少尉（二[illegible]）は本年五月二十三日惜しくも南方戰線において戰病死を遂げた旨臺北市役所に公報があつた、同少尉は東京府[illegible]町に出生、昭和五年來臺、臺北高等商業を卒業[illegible]中昭和十七年五月お召により[illegible]出征、南方戰線において惜しくも病魔に斃れ戰病死を遂げたものである、留守宅を訪へば[illegible]さんは[illegible]





齋藤本部長臺中州下を視察

【寫眞上は臺中市[illegible]防空[illegible]、下は[illegible]部落所を出發、見送りを受ける本部長】

英靈の冥福を祈念

合同慰靈祭嚴かに修行

【汕頭支局特電二十七日發】大東亞戰爭の礎として[illegible]英靈[illegible]合同慰靈祭は二十六日午前十時中山公園[illegible]嚴かに執り行はれた[illegible]

海兵へ若人の熱血

脈々沸る決意を表明

[illegible]

"必勝貯蓄"へ 日婦總進軍

【東京電】大日本婦人會では二十[illegible]

旅客輸送の改正

重點的計畫輸送を强化

【東京電】鐵道省發表 [illegible]

一、[illegible]旅客の調整とその運賃割引制度の修正
二、[illegible]
三、途中下車の取扱一部改正
四、乘車券寸法縮小
五、全急行列車に對する乘車列車の指定

[illegible]

三、途中下車取扱の一部改正

四、乘車券の寸法縮小

五、全急行列車に對する乘車列車の指定

六、特別急行の座席指定及びその名稱廢止

七、急行料金の改正

八、[illegible]

第一種　[illegible]
第二種　[illegible]

海兵への熱意昂る

新竹郡で三百九十七名

[illegible]

警戒警報發令時は 一切の興行禁止

[illegible]

奉納長巨離行軍

愈よ卅日に擧行

[illegible]

鄉軍耐熱行軍

[illegible]

警防團員に

有田兵事部長 新竹で講演

[illegible]

教授と修錬を並行

臺北高校の新體制 下川校長語る

[illegible]

臺北市在住陸軍在鄉軍人に告ぐ

[illegible]

トラカン・テンパサルへの電報開始

[illegible]

腦の病（てんかん）　卒中風　再發防止法

[illegible]

防空明星感謝資金（三）

[illegible]

小計二千五百五十八圓五錢

累計七萬千九百七十六圓七十錢

防諜宣傳ポスター募集

[illegible]

第一期決算公告　臺灣商工銀行

第四回決算公告　大和物產株式會社

臺灣石炭株式會社

第四回決算公告　臺灣製材株式會社

募集　女子事務員若干名　中華航空株式會社

會葬御禮　川原今朝一　親戚一同

竹中太郎儀　[illegible]

今日の映畫　大世界　臺劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　大平館　第三世界　基隆世界

台北州合同興業

基隆の映畫

國報健康　戰時だ働かう　冷症・神經痛・ロイマチス　各種皮膚病・温泉風呂に　ミネラール　臺北州賣藥製造工業組合

臺南春競馬　五月二十九日（土）三十日（日）　六月五日（土）六日（日）

移轉御挨拶　今般改築中ノ新事務所竣功致候ニ就テハ六月一日移轉可仕候間此段御挨拶申上候　新事務所　臺北市京町四丁目一二番地　株式會社西松組臺北支店

第四回南方派遣農業技術錬成生募集　一、採用人員　五〇〇名　二、錬成期間　三、錬成資格　四、錬成場所　五、錬成中ノ給與　六、申込期限　七、申込場所　八、其ノ他　臺灣總督府熱地農業技術錬成所

故妻フミ儀本二十八日午前[illegible]死去致候　夫　富田梅一　長男　三千人

次男杲二儀[illegible]　服部武彦

判妻まつ代儀[illegible]　山上仙吉　親戚一同　友人一同

會葬御禮　岩田廣三郎

ニュース映畫會（土・日）　日本ニュース　本日、明日　於公會堂

決戰下海軍記念日
各地に繰展ぐ海軍繪卷

臺東街 【臺東電話】大東亞戰爭下第二回の海軍記念日を迎へた臺東街の記念式並行事は午前七時を期し初夏の薫風を切つて[illegible]

宜蘭市 【宜蘭電話】[illegible]

羅東街 【羅東電話】[illegible]

彰化市 【彰化電話】[illegible]

佐久間中佐が熱辯
"海軍魂"に市民感激

【臺中電話】[illegible]

高雄地域港灣運送業會第二回總會

【高雄電話】[illegible]

海國日本の意氣
馬公の記念日水泳大會

【馬公電話】二十七日海軍記念日の[illegible]

空の防人へ赤誠

【朴子電話】[illegible]

賞賜物件傳達式

【宜蘭電話】宜蘭市では[illegible]

州民の感謝披瀝
高木長官招き祝賀會

【高雄電話】第三十八回海軍記念日を祝福し[illegible]

米英撃滅を誓ふ
高雄奉壯團の曉天動員

【高雄電話】決戰下輝く第三十八回の海軍記念日を迎へて[illegible]

粒選り陸の志願兵
臺南、合格者を合宿
更に鍛ふ高度の錬成

【臺南電話】第二回陸軍特別志願兵として[illegible]

三笠の護衞艦に……
感激一入　西島氏語る

[illegible]

三日間で一萬餘圓
昂まる高雄の建艦の熱意

【高雄電話】[illegible]

寫眞は臺中市に於ける海軍記念日行事奉祝旗行進

快癒した軍服姿の頼母しさ
體驗を今後に活かす
歸還看護助手の感想をきく

【臺中電話】[illegible]

栽物小賣組合より空の防人へ

【宜蘭電話】[illegible]

路上喫煙禁止
新竹奉壯が運動

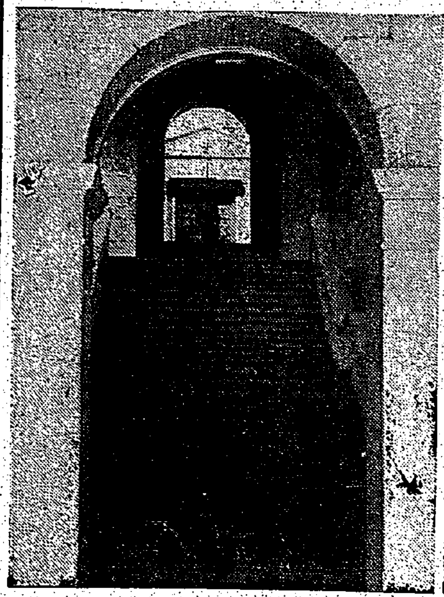
【新竹電話】[illegible]

海の鳳雛を鍛へる　（八）
御紋章仰ぎ只忠誠
默々鍛ふ江田島精神
海軍兵學校の巻

春の瀬戸内海は若く美しい色を湛へてゐる、波靜かなこの江田島にいま若い紅顔の海軍兵學校の生徒たちが短艇訓練時間の午後の一とき、ぐいと握り締めた櫂を折れよとばかりに全身全力を傾け白波を立てて力漕をつづけてゐる帝國海軍士官の揺籃の地江田島の海軍兵學校では一分一秒たりとも空費は許されない、すべて生徒を中心に訓練鍛成に全努力が傾注されてゐる

世界に冠絶するわが海軍の強さはこの江田島の[illegible]によつて生まれ出たものと言つても決して過言ではあるまい、起床から就寝に至るまで海軍軍人たるの素養と強力の錬磨とそして明晰な技能の研究が[illegible]によつて鍛へ上げられて行く、とくに許されて同校を訪れ一日「鍛ふ海軍魂」の鍛成ぶりを眼のあたりに眺めて[illegible]

[illegible]



丁度このとき[illegible]

ラヂオ

[illegible]

赤誠の獻金

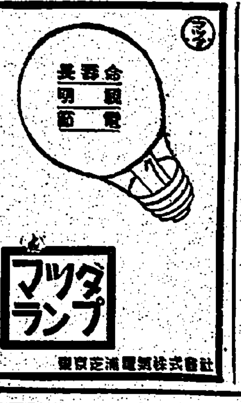
軍司令部（雜報）　國防獻金[illegible]

大いなる祭
（146）

中野實作　三芳悌吉畫

ふるさと（8）

[illegible]



マツダランプ

東京芝浦電氣株式會社

女だけの話

文化の衛生寶典

婦人美寶散

[illegible]

案內

[illegible]

文部省推薦映畫

江戸最後の日

29日

東寶直營國際館

全快者の發表

腦病ろくまくに

專門藥

中風藥　胃腸劑　治淋劑　驅毒劑

有田ドラッグへ

青少年諸君に少國民の日本文庫

【新刊】大佛次郎先生著

楠木正成（上）

住田正一先生著

日本の船

大日本雄辯會講談社

農業世界

五月號

特輯　初夏の害蟲驅除

博文館

半煉の仁丹齒磨

香味が爽かで清掃力が強く然かも經濟的

お家庭の徳用品！

病毒で困る人へ

私の治療藥を教へる